資料１－２
地方版図柄入りナンバープレートの現状と導入希望等

ご当地ナンバーの概要

国土交通省

○　ナンバープレートの地域名については、自動車登録規則により、自動車の使用の本拠の位置を管轄する運輸支局または自動車検査登録事務所の名称等を表示している。
○　新たな地域名表示のナンバー（いわゆる、「ご当地ナンバー」）については、地域振興や観光振興の観点から、自動車検査登録事務所等の新設によらず、地域に根ざした地域名表示を可能としたもの。（合計４６地域）

導入地域

第１弾：平成18年10月 19地域（仙台・つくば・富士山・豊田・倉敷 等）
第２弾：平成26年11月 10地域（平泉・越谷・杉並・世田谷・春日井 等）
第３弾：令和　2年　5月 17地域（弘前・松戸・江東・四日市・飛鳥 等）

対象地域の基準とその基本的考え方

■**地域特性や経済圏等に関して、一定のまとまりのある地域であり、広く認知されている地域**
⇨　地域のまとまりに着目し、地域振興や観光振興に活用するため

■**原則として登録自動車10万台以上（※）である地域**
⇨　引っ越し等におけるユーザーの変更手続き負担や行政管理コスト等の増大を防ぐ観点から一定の規模（最小の登録事務所の規模を下回らない）が必要と考えられるため　※例外あり

■**都道府県内の他の地域と比較し、人口、登録自動車数等に関して、極端なアンバランスを生じない地域**
⇨　登録等の行政事務の効率やナンバーの安定供給のため

導入手続き概要

市町村がアンケート等により、地域住民や自動車ユーザー等の意向を確認した上で、都道府県に要望

↓

都道府県が地域基準や手続きに適合しているか判断し、妥当な場合には国土交通省へ要望

↓

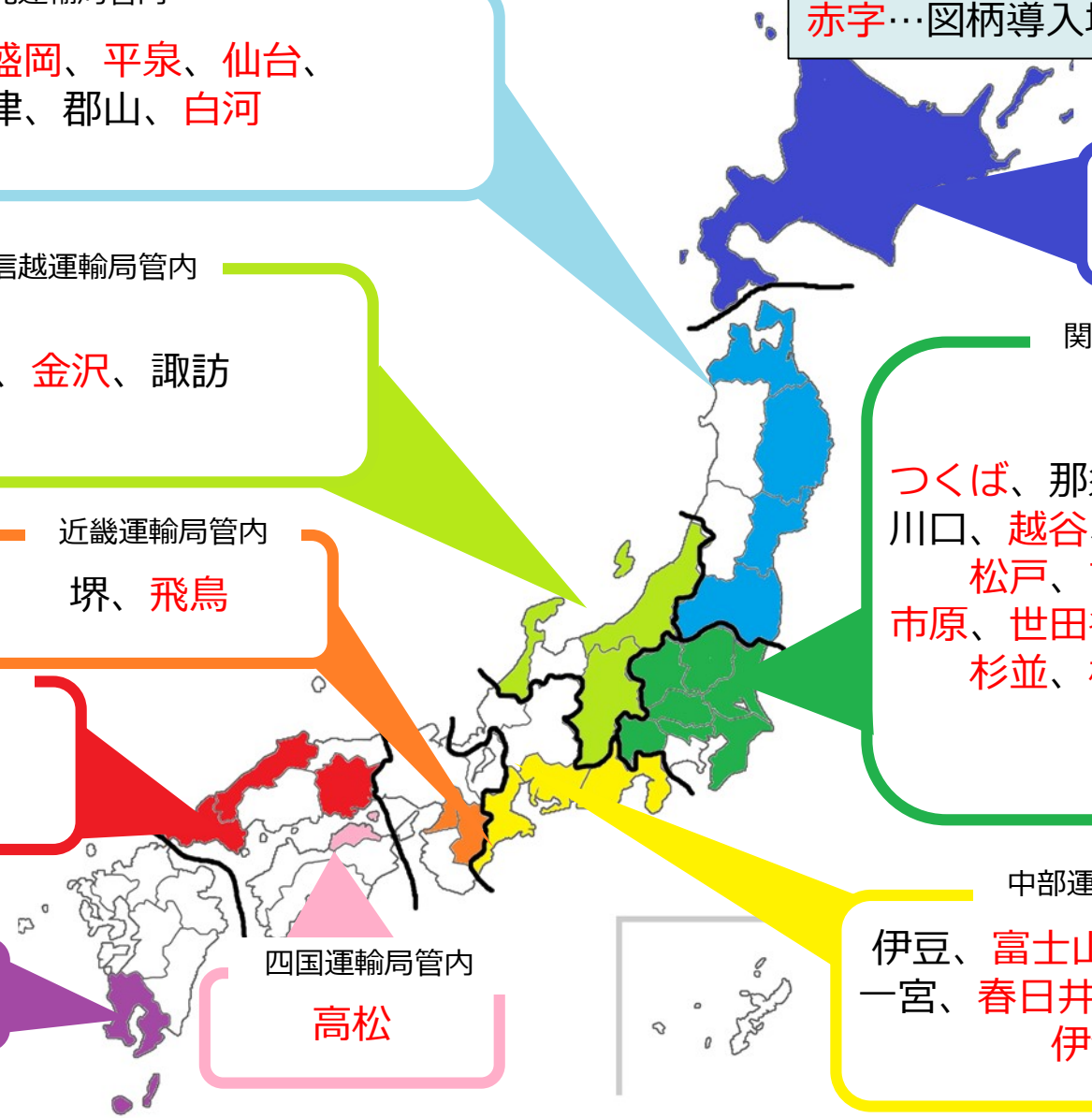
国土交通省において、関係機関、関係団体等と調整を行なった上で審査を行い、導入地域を決定

その他　新たな地域名表示のナンバーは、新地域内の全ての自動車に適用し、順次、新規登録、移転登録等の際に新たな地域名のナンバーを付与

ご当地ナンバーの導入地域一覧

国土交通省

導入地域…46地域
赤字…図柄導入地域（32/46地域）



東北運輸局管内
弘前、盛岡、平泉、仙台、
会津、郡山、白河

北海道運輸局管内
苫小牧、知床

北陸信越運輸局管内
上越、金沢、諏訪

関東運輸局管内
つくば、那須、高崎、前橋、
川口、越谷、川越、成田、柏、
松戸、市川、船橋、
市原、世田谷、江東、葛飾、
杉並、板橋、富士山

近畿運輸局管内
堺、飛鳥

中国運輸局管内
出雲、倉敷、
下関

九州運輸局管内
奄美

四国運輸局管内
高松

中部運輸局管内
伊豆、富士山、岡崎、豊田、
一宮、春日井、鈴鹿、四日市、
伊勢志摩

地方版図柄入りナンバープレートの概要

国土交通省

地方からの図柄入りナンバーの導入に関する要望や関心の高さ、諸外国での活用事例等を踏まえつつ、ナンバープレートの更なる多角的な活用を推進するため、各地域の個性を活かした特色ある図柄を描いたナンバー（いわゆる、「地方版図柄」）を交付することとしたもの。
（合計５８地域）

導入地域

○ 第１弾：平成30年10月　41地域（仙台・つくば・富士山・豊田 等）
○ 第２弾：令和　2年　5月　17地域（弘前・松戸・江東・四日市・飛鳥 等）

※ 第２弾地方版図柄については、ご当地ナンバーと組み合わせて募集している。

図柄の基準とその基本的考え方

■**ナンバープレートの地域毎にデザインは１つ**
⇨　導入・製造等にかかるコストを抑え、導入効果を高めるため

■**寄付金あり、寄付金なしの２種類であり、寄付金なしはモノトーン**
⇨　寄付金がユーザーの任意であることから、寄付金なし図柄も必要
⇨　寄付金なしを色彩で区分することにより、視認性確認等の導入コストを抑える

■**地域住民の意向が踏まえられているもの、視認性が確保されているもの等の図柄選定基準を満たすもの**
⇨　地域住民の意向を踏まえ、地域の特色を表現し、地域振興・観光振興に資するため
⇨　ナンバープレートとしての本来の機能を損なわないため

導入手続き概要

地域を構成する全ての市町村が合意した上で、国土交通省に申込み（※）

※ナンバー地域が都道府県の範囲と一致する場合などは、全ての市町村の同意を得た上で、都道府県が国土交通省に申込むことも可

↓

アンケート、ヒアリング等により地域住民の意向を反映した図柄を国土交通省に提案

↓

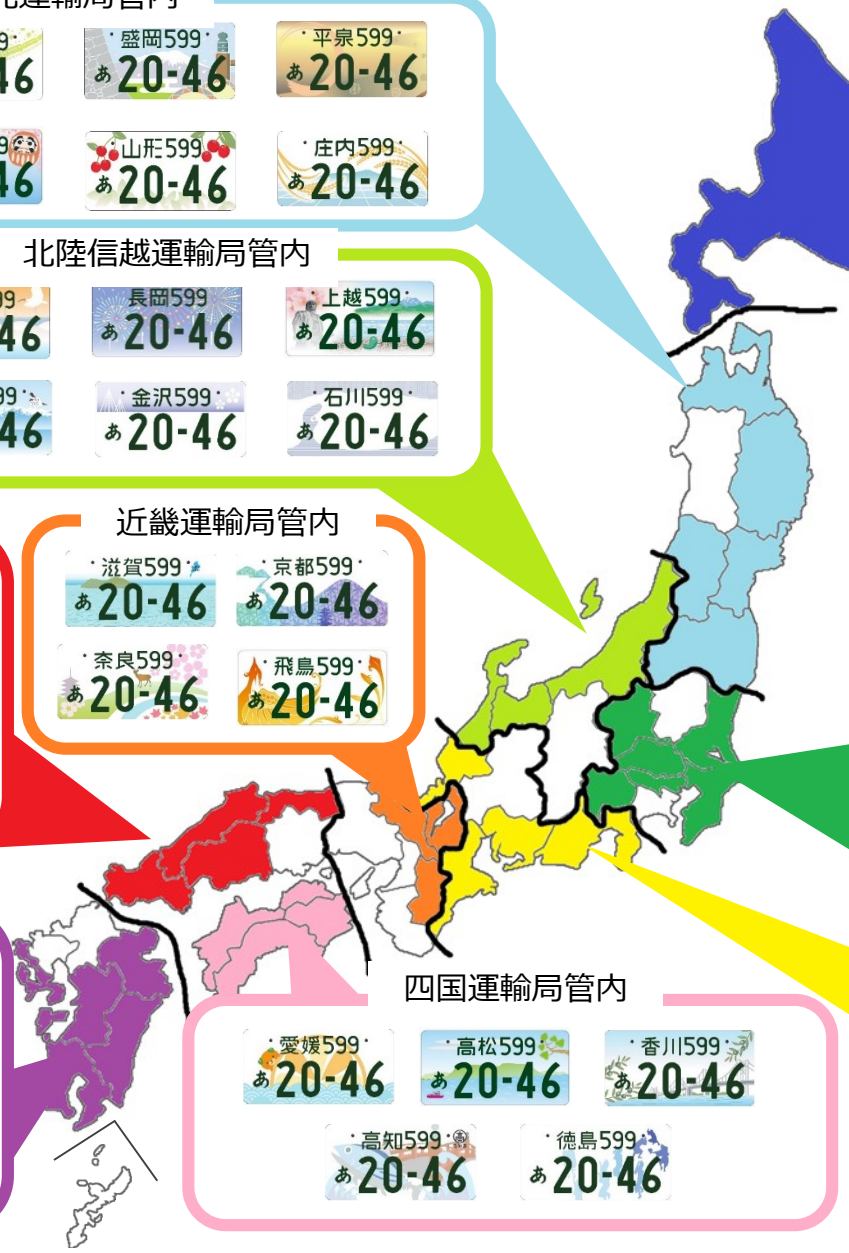
国土交通省において、関係団体等と調整を行なった上で審査を行い、導入地域を決定

その他　ユーザーの寄付金は、対象地域の交通改善、地域振興、観光振興等に活用される

地方版図柄の交付地域一覧

国土交通省

地方版図柄未導入地域
75/133



東北運輸局管内

弘前599 あ20-46
岩手599 あ20-46
盛岡599 あ20-46
平泉599 あ20-46
仙台599 あ20-46
白河599 あ20-46
山形599 あ20-46
庄内599 あ20-46

北海道運輸局管内

苫小牧599 あ20-46
知床599 あ20-46

北陸信越運輸局管内

新潟599 あ20-46
長岡599 あ20-46
上越599 あ20-46
富山599 あ20-46
金沢599 あ20-46
石川599 あ20-46

関東運輸局管内

土浦599 あ20-46
つくば599 あ20-46
前橋599 あ20-46
越谷599 あ20-46
成田599 あ20-46
柏 599 あ20-46
松戸599 あ20-46
市川599 あ20-46
船橋599 あ20-46
市原599 あ20-46
葛飾599 あ20-46
江東599 あ20-46
板橋599 あ20-46
杉並599 あ20-46
世田谷599 あ20-46
富士山599 あ20-46

中国運輸局管内

鳥取599 あ20-46
出雲599 あ20-46
福山599 あ20-46
山口599 あ20-46
下関599 あ20-46

近畿運輸局管内

滋賀599 あ20-46
京都599 あ20-46
奈良599 あ20-46
飛鳥599 あ20-46

九州運輸局管内

長崎599 あ20-46
佐世保599 あ20-46
熊本599 あ20-46
大分599 あ20-46
鹿児島599 あ20-46
宮崎599 あ20-46

四国運輸局管内

愛媛599 あ20-46
高松599 あ20-46
香川599 あ20-46
高知599 あ20-46
徳島599 あ20-46

中部運輸局管内

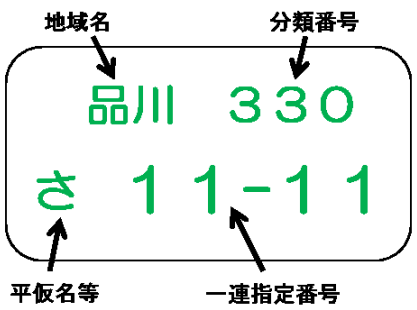
富士山599 あ20-46
豊田599 あ20-46
春日井599 あ20-46
福井599 あ20-46
四日市599 あ20-46
伊勢志摩599 あ20-46

（参考）ナンバープレートの制度

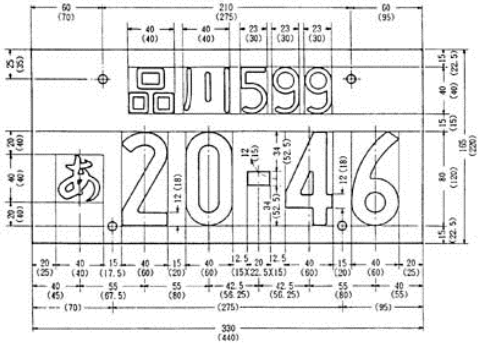
国土交通省

○　道路運送車両法の規定により、自動車はナンバープレートを表示することが定められており、同法施行規則の規定により、ナンバープレートの大きさ、色、形、その他の事項については、国土交通大臣が定めることとされている。

<ナンバープレートの表示内容等>



<ナンバープレートの種類>



○　図柄入りナンバープレートについては、告示により国土交通大臣がその塗色を定めており、取組みに対する任意の寄付を行った者に対しては、フルカラー版の図柄入りナンバープレートを交付することが可能となっている。

<ラグビーワールドカップ特別仕様>

（取組み）
会場までの輸送力の増強等

（交付期間）
平成29年 ～ 令和2年
4月3日　　1月31日

<東京2020ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ･ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ競技大会特別仕様>

（取組み）
開催地におけるノンステップバス、UDタクシーの整備等

（交付期間）
平成29年 ～ 令和3年
10月10日　11月30日

<地方版>

（取組み）
当該地域における自動車交通サービスの改善、観光振興等

（交付期間）
【第1弾】平成30年10月1日～
【第2弾】令和2年5月11日～

【フルカラー版（寄付金あり）】

【モノトーン版（寄付金なし）】

地方版図柄の導入効果

国土交通省

地方版図柄（ご当地ナンバーの導入を伴うものを含む。）の導入による効果について、一部自治体（※）にヒアリングを行ったところ、以下のような回答があり、地方版図柄の導入は、地域の一体感の醸成や観光振興等へ一定の役割を果たしていると考えられる。

1．地方版図柄を導入したメリット

・広告塔としての役割を担い、地元のPRとして市外へ情報発信ができた。
・地域振興の効果がある程度上がっていると評価している。
・観光振興に寄与したと感じる。
・地域への愛着や誇りが高まった。
・導入地域の一体感の醸成に役立った。
・復興を後押しする事業となっている。
・地域振興に役立つ財源を得ることが出来た。
・車の外装にこだわるユーザーにとっては、デザイン性を高めるツールの１つとなっている。

2．地域にもたらされた効果

・シティプロモーションの推進に繋がる。
・ニュースに取り上げられる等、話題になりやすい。
・図柄を見ることで優しい気持ちになり、安全運転を心がけるきっかけになっている。
・シビックプライドの醸成に繋がっている。

3．住民の反応

・ツイッターで「かっこいい」等の投稿が上がり交付前から話題になった。
・関連HPのアクセス数が約10倍になった。
・市政への関心が高まった。

※第１弾41地域の申込件数上位５地域
　第２弾17地域の申込件数上位３地域
上記地域にヒアリング等を実施（R2.12）

地方版図柄の申込件数・普及状況（全国）

国土交通省

地方版図柄の累計申込件数は約22.3万件で取付車両数は約19.1万台。導入地域の普及率は全国で0.74%にとどまっており、軽自動車が僅かに高い傾向がある。また、寄付あり車両は約16.2万台で取付車両の約85%。

申込件数（累計）

登録車	合計		111,765
	自家用		108,336
		寄付あり	93,638
		寄付なし	14,698
	事業用		3,429
		寄付あり	3,135
		寄付なし	294
軽自動車	合計		111,647
	自家用		111,647
		寄付あり	91,719
		寄付なし	19,928
登録車＋軽自動車	合計		223,412
	自家用		219,983
		寄付あり	185,357
		寄付なし	34,626
	事業用		3,429
		寄付あり	3,135
		寄付なし	294

※軽自動車の事業用は図柄入りナンバー交付対象外
※全国車両保有数…約7,831万台
　自家用…約7,619万台
　事業用（登録車）…約181万台
　事業用（軽自動車）…約31万台

令和3年3月31日現在

普及状況（導入地域）

	導入地域保有車両数			地方版図柄取付車両数		普及率
登録車	約1,460万台	合計		96,377		0.66%
			寄付あり	83,651	86.8%	
			寄付なし	12,726	13.2%	
軽自動車	約1,132万台	合計		95,062		0.84%
			寄付あり	78,693	82.8%	
			寄付なし	16,369	17.2%	
登録車＋軽自動車	約2,592万台	合計		191,439		0.74%
			寄付あり	162,344	84.8%	
			寄付なし	29,095	15.2%	

※普及率＝地方版図柄取付車両数/
　地方版図柄導入地域保有車両数で算出

地方版図柄の申込件数・普及状況（地域別）

国土交通省

地方版図柄は、第1弾41地域（平成30年10月～）、第2弾17地域（令和2年5月～）で交付しているが、地域別の申込件数や普及率には相当の差（普及率で最大約22.5倍）が生じている。

令和3年3月31日時点

地域別申込件数

順位	地域表示名	申込件数
1	**熊本**	**23,653**
2	福山	14,819
3	愛媛	10,510
4	奈良	9,807
5	仙台	8,719
⋮		
54	杉並	796
55	板橋	693
56	越谷	666
57	高松	663
58	**世田谷**	**448**

地域別普及状況

順位	地域名表示	普及率
1	**飛鳥**	**3.82%**
2	富士山（山梨）	2.46%
3	弘前	2.16%
4	松戸	2.14%
5	福山	2.12%
⋮		
54	宮崎	0.24%
55	山口	0.23%
56	石川	0.21%
57	徳島	0.18%
58	**世田谷**	**0.17%**

…第1弾地方版図柄　…第2弾地方版図柄

地方版図柄の普及促進活動の取組状況

国土交通省

自治体の普及促進活動調査（R2.12）によると、地方版図柄の普及促進活動として、公用車の取付、チラシ・ノベルティの配布、イベント出展等が多く挙げられた。
普及が進んでいる図柄の地域は普及促進活動に注力しているが（参考Ⅰ・参考Ⅱ）、普及度合が落ちるにつれほとんど活動がない地域も散見された。一方で、普及が進んでいる図柄の地域と同様の普及促進活動に取り組むが、普及が進まない図柄の地域も存在する。（参考Ⅲ・参考Ⅳ）

＜自治体の主なPR活動の取組一覧＞

- HP、広報誌、SNS等への掲載
- 公共施設等へのPR
- チラシ、ノベルティの配布
- 公用車への取付
- 市営バスへの広告提出（ラッピングバス）
- ラジオCMでの宣伝
- イベントへのブース出展
- PRポケットティッシュの配布
- レプリカナンバーの作成及び自動車販売店への配布

＜普及が進んでいる地域のPR活動例＞

（参考Ⅰ）飛鳥（申込18位、普及率1位）
- 導入自治体の各駅にポスターを掲示
- R3年度に飛鳥ナンバー交付地域を紹介する動画を配信予定

（参考Ⅱ）熊本（申込1位、普及率8位）
福山（申込2位、普及率5位）
仙台（申込5位、普及率12位）
- 上記3地域で連携したSNSを活用した情報発信

＜普及度合いの格差例＞

（参考Ⅲ）つくばの主な取組
（申込6位、普及率20位）
- 公共施設等でのPR
- 公用車への取付
- チラシ、ノベルティの配布
- イベントへのブース出展

同様の取組でも順位が大きく異なる

（参考Ⅳ）世田谷の主な取組
（申込58位、普及率58位）
- HP、広報誌等への掲載
- 公用車への取付
- ノベルティの配布
- チラシの配布、掲示
- イベントへのブース出展

地方版図柄の広報活動（飛鳥地域の取組事例）

国土交通省

■イオンモールでのPRイベント
　奈良運輸支局がイオンモール橿原で開催した自動車の点検整備推進イベントで「飛鳥ナンバー」をPR。

■協議会の広報HP
　協議会が広報HPを立ち上げ、デザイン選定経緯や申込方法等の詳細にいたるまで、積極的な情報発信を実施。

■誕生記念フォトコンテスト
　奈良トヨタが、飛鳥ナンバーの誕生を記念し『飛鳥とクルマ』『クルマと私』をテーマに飛鳥地域での撮影写真限定でフォトコンテストを開催。

■YouTubeチャンネル
　奈良TVの公式YouTubeチャンネルにて、各自治体の首長が飛鳥ナンバーへの熱い思いを語る動画を放映。（協議会HPに動画を添付）

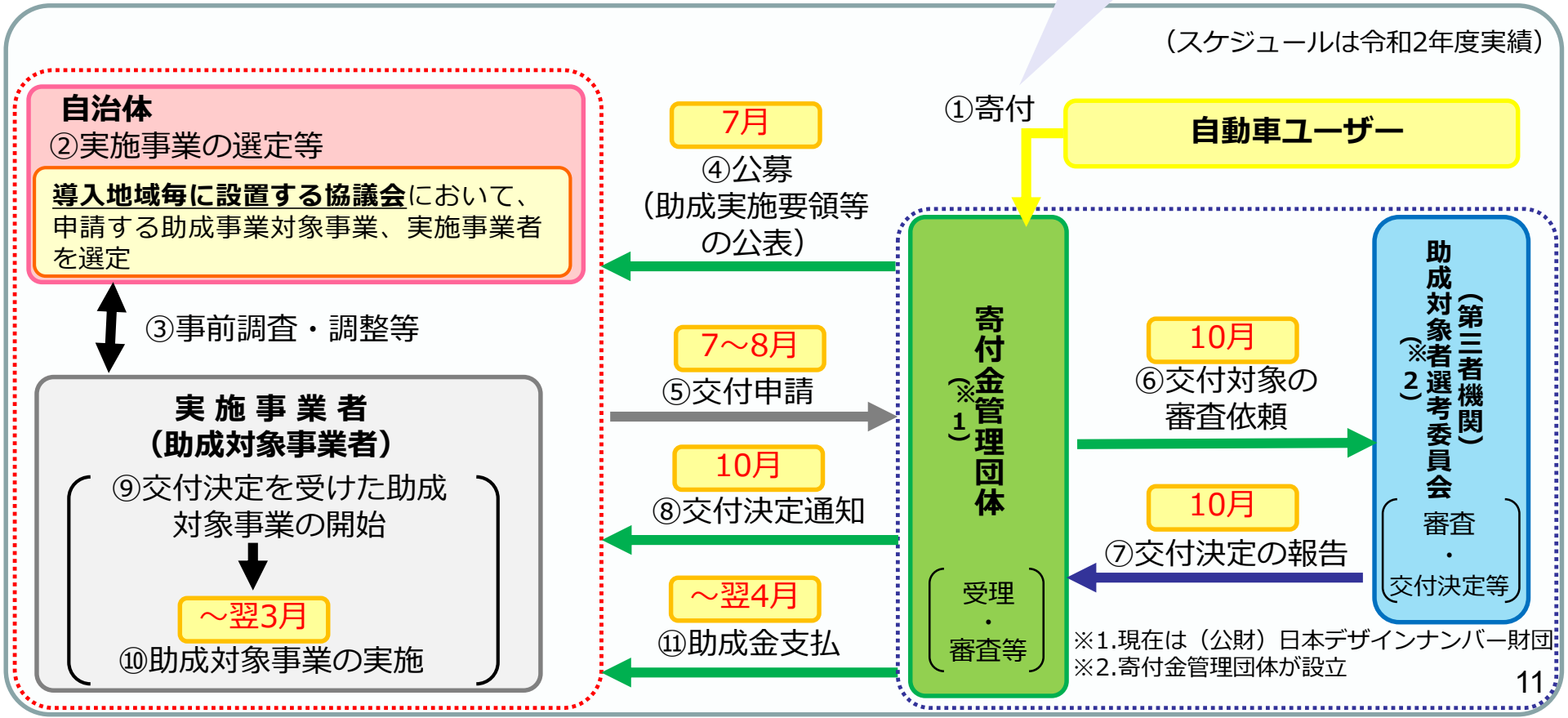
地方版図柄の寄付金制度概要

国土交通省

地方版図柄の交付に際して自動車ユーザーの任意で納められた寄付金は、自治体（協議会）が選定した地域の交通改善、地域振興、観光振興等の事業に活用される。寄付金活用事業は、現在の寄付金管理団体の助成実施要領においては申請年度内の完了が定められている。

【告示で定めるフルカラー版図柄入りナンバー交付要件】
「地域住民の自立した日常生活及び社会生活の確保、活力ある都市活動の実現、観光その他の地域間の交流の促進並びに交通に係る環境への負荷の低減その他の地域公共交通の活性化若しくは再生に資する取組又は被害者の保護の増進を図るとともに、自動車事故の発生の防止に資する取組」への寄与

（スケジュールは令和2年度実績）



地方版図柄の寄付金管理団体の助成対象事業

国土交通省

告示で定める交付要件を踏まえ、地方版図柄の寄付金管理団体（※）では、交通改善、地域振興、観光振興等に資する以下の事業を助成対象としている。　※（公財）日本デザインナンバー財団

1．公共交通機関等のバリアフリー化に資する事業

（事業の例）
・ノンステップバス、リフト付きバス、ユニバーサルデザインタクシーの普及
・移動支援のための福祉車両の購入
・観光地設備のバリアフリー化に係る取り組み　　等

2．公共交通の輸送の円滑化、輸送力の強化に資する事業

（事業の例）
・公共交通の速達性・定時性の確保や輸送能力の増大を可能とするBRT（Bus Rapid Transit）の普及
・イベント等における臨時バスの運行、周遊パスの発行　　等

3．公共交通機関等の利便性の向上・観光旅行客の受入れ体制の強化に資する事業

（事業の例）
・外国人旅行客等を対象とした無料公衆無線（Wi-fi）の設置
・多言語対応のアプリの普及、バス停留所等の整備
・二次交通が不便な地域におけるレンタサイクルの普及促進
・ＭａａＳ等の導入における実証実験
・観光スポットの環境保全・美化活動
・観光広報、観光促進、観光客誘客に関する取り組み　等

4．次世代自動車の普及に資する事業

（事業の例）
・自動走行システム等の新たな自動車技術の導入に資する事業
・燃料料電池自動車等の普及に資する事業　　等

5．自動車等による交通事故防止対策、被害者救済対策に資する事業

（事業の例）
・交通遺児一時金、交通安全の広報・啓発
・交通安全に資する路灯や防犯カメラの設置・修理
・交通安全施設等の設置　　等

6．バスやタクシー等の公共交通事業者に対するドライブレコーダーやバックモニターの設置等公共交通機関等の維持確保に資する事業

（事業の例）
・過疎地域における地域交通の確保や、公共交通の利用促進のための広報・啓発などの環境づくり
・駅、空港からのバスや観光タクシー等の二次交通の利用促進
・公共交通の運転士の人材確保　　等

7．街づくりに資する事業

（事業の例）
・無電柱化など、道路環境の整備に係る事業
・まちづくりに係る事業
・景観の観点からの野立広告物の撤去に係る事業　　等

8．観光施設・拠点等の保全・整備に資する事業

（事業の例）
・観光施設や観光拠点の維持・保全に係る取り組み　　等

9．その他、上記事業と一体となって利用者利便の向上、公共の福祉に資する事業

地方版図柄の寄付金活用事例

国土交通省

地方版図柄の寄付金活用事業は令和元年度から年度ごとに募集されており、令和元年度に1件、令和2年度に2件の寄付金活用事業が実施された。（交付額計約465万円）

熊本：高齢者安全運転支援（ペダル踏み間違い防止装置補助）
令和元年度事業（助成金交付額約350万円）

香川：反射タスキ配布キャンペーン
令和2年度事業（助成金交付額約95万円）

画像提供：（公財）日本デザインナンバー財団

徳島：「にし阿波」地域観光誘致ポスター
令和2年度事業（助成金交付額約20万円）

画像提供：（公財）日本デザインナンバー財団

地方版図柄入りナンバープレートに対する導入希望等のアンケート調査結果

地方版図柄入りナンバープレートに対する導入希望等の調査実施概要

国土交通省

○アンケートの目的
「新たな図柄入りナンバープレートの導入に関する検討会」で、地方版図柄入りナンバープレートの制度のあり方を検討するうえでの参考情報とするもの

○アンケート対象者（任意）
全国の都道府県、市区町村（1,788自治体）

○アンケート期間
2021年8月3日（火）～2021年9月3日（金）

○アンケート回答自治体数
584自治体（32.7%）

○アンケートの主な内容
- 地方版図柄の導入検討状況
- ご当地ナンバーの導入検討状況
- 既存地方版図柄導入地域における図柄の変更及び廃止希望の有無
- 既存地方版図柄導入地域におけるPRの取組及び課題

・自治体単位別回答者状況

	総数	回答数	回答割合
都道府県	47	25	53.2%
市区町村	1,741	559	32.1%
合計	1,788	584	32.7%

・回答自治体単位別地方版図柄導入状況

	図柄導入地域	図柄未導入地域
都道府県	17	8
市区町村	319	240
合計	336	248

※都道府県のうち、域内に一部未導入地域が存在するものは「図柄未導入地域」として集計

導入検討状況

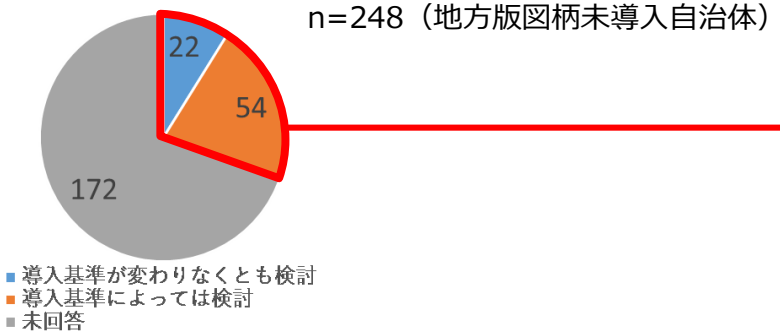
国土交通省

ご当地ナンバーは50の自治体、地方版図柄は76の自治体が検討と回答。
うち、ご当地ナンバーでは44団体、地方版図柄では54団体は「導入基準によっては検討」と回答。なお、ご当地ナンバー導入の検討意向を有する自治体の多くは、従前の単独市区町村の登録車保有台数基準（10万台以上）を満たしていない（45/48市区町村）。

○地方版図柄の導入検討状況

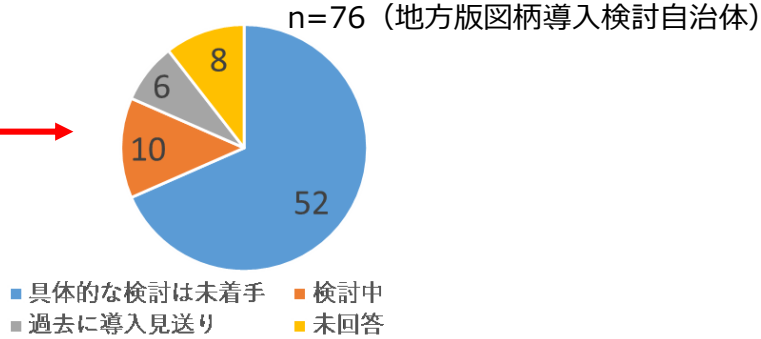
（１）地方版図柄の導入検討状況（選択肢）

n=248（地方版図柄未導入自治体）



（２）現在の検討状況（自由記述）

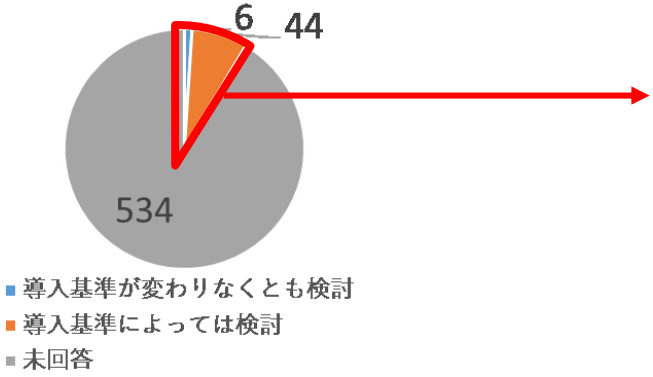
n=76（地方版図柄導入検討自治体）



○新たな地域名表示（ご当地ナンバー）の導入検討状況

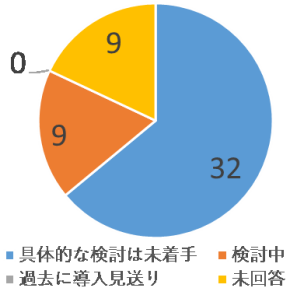
（１）ご当地ナンバーの導入検討状況（選択肢）

n=584（全自治体）



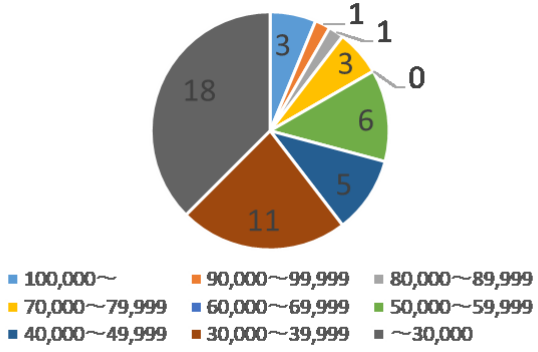
（２）現在の検討状況（自由記述）

n=50（ご当地ナンバー導入検討自治体）
※うち2件は都道府県の回答



（３）導入検討自治体の登録車保有状況（R3.3時点事務局調べ）

n=48（ご当地ナンバー導入検討市区町村）



図柄の変更・廃止希望及び今後のPR予定と課題

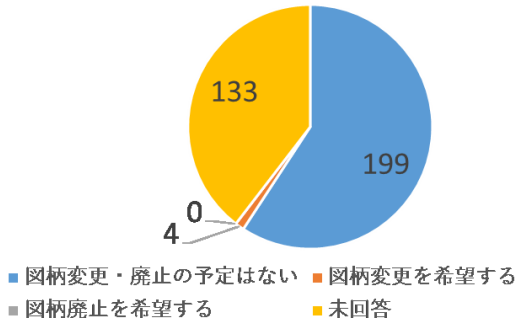
国土交通省

図柄の変更・廃止の希望について、ほとんどの自治体は地域住民からの要望等を受けていないことから希望はないと回答（図柄変更希望は4件。図柄廃止希望は0件）。また、今後のPR取組予定について、半数を超える自治体（約54%）は予定はないとしている。なお、PR上の課題では新型コロナによる広報手段の限定等を挙げた。

○既存地方版図柄導入地域における図柄の変更及び廃止希望の有無

（１）図柄の変更・廃止希望状況（選択肢）

n=336（既存地方版図柄導入自治体）



（２）（１）で変更を希望した理由（自由記述）

- 申込件数が伸び悩んでいるため（2件）
- 住民から図柄の微修正の要望が多いため（1件）
- 他地域が描かれた図柄は推進しづらいため（1件）

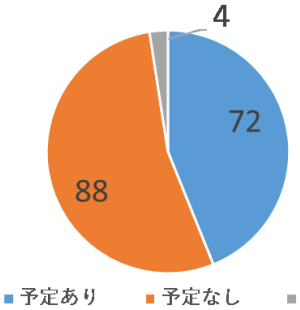
（３）（１）で予定はないとした主な理由（自由記述）

- 住民からの要望や問い合わせなど、理由になるものがないため（106件）
- 普及が進んでいるため（21件）
- 導入して間もないため（13件）

○既存地方版図柄導入地域におけるPRの取組と課題

（１）今後のPR取組予定（選択肢）

n=164（既存地方版図柄導入自治体回答者）



（２）PR上の主な課題（自由記述）

- 新型コロナにより広報手段が限られる（29件）
- PR費用がない、かけづらい（5件）
- 話題性や住民の関心が低い（3件）
- 交付手続きに係る問い合わせを自治体から回答できない（3件）

※特になし（79件）

その他自由記述意見（ご当地ナンバー）

国土交通省

導入基準について

（市区町村）
- ご当地ナンバーの台数基準を緩和していただきたい。
- 現在のご当地ナンバーの台数基準は人口が多い地域が優遇されて導入できる基準であり、地域振興や観光振興が本当に必要な地域が利用できない。
- ご当地ナンバーの対象地域を追加できるようにしていただきたい。
- ご当地ナンバー導入時に想定される地域のまとまりが複数の運輸支局の管轄地域にまたがっており、導入が困難（※）。

  ※事務局補足：複数の運輸支局の管轄にまたがる地域でのご当地ナンバー導入実績あり（富士山、知床）

その他

（市区町村）
- ご当地ナンバー導入地域では、自動車ユーザーが既存の地域名とで選択できるようにしていただきたい。
- ご当地ナンバー導入に向け、県がリーダーシップを発揮していただけるのを期待する。
- ご当地ナンバー導入に伴う課税事務コスト増加の観点も踏まえるべき。

その他自由記述意見（地方版図柄①）

国土交通省

合意形成及び導入できる図柄デザイン数について

（市区町村）
- 自地域は広域にわたるため、地方版図柄導入に際しての全自治体の合意形成や、地域住民の意向・地域の特色を踏まえた図柄選定等が困難。
- １地域に複数（自治体ごと）の図柄デザインを導入できると良い。

募集時期ついて

（市区町村）
- 今回の導入を見送った場合、次回の募集時期等の見通しを示していただきたい。
- 地方版図柄導入申込を随時受け付けてほしい。

寄付金ついて

（都道府県）
- 寄付金活用事業実施には、協議会設立等クリアしなければならない要件が複数あり、ハードルが高い。

（市区町村）
- 寄付金活用事業の手続きの簡素化や要件緩和をしていただきたい。
- 寄付金活事業の実施期間を延長していただきたい。
- 寄付金活用事業の対象事業を拡大していただきたい（※）。
  ※事務局補足：特定の使途を想定したものでなく、対象事業が拡大されれば協議会でより議論しやすくなるという趣旨
- 少額な寄付金で実現できることは少ないため、国や都道府県等大きな単位でのスケールメリットのある事業に寄付金を活用できると良い。
- 寄付金を寄付金管理団体経由でなく、直接地域の協議会等に入るようにしていただきたい。
- 寄付金活用事業の参考にするため、国の動向や各地域での活用検討状況等を共有いただきたい。

その他自由記述意見（地方版図柄②）

国土交通省

普及促進方策について

（都道府県）
・ディーラー等における情報提供が不足している印象がある。
・検討会では、「自治体への導入後のペナルティがないので何らかの対策が必要」とする意見もあったようだが、一方的にペナルティを課すことは、地域の魅力の否定とも取られかねず、運用が難しいように思われる。

（市区町村）
・交付代行手数料が高い（助成があると良い）。
・若者にも興味を持ってもらえるような図柄デザインにする必要がある。
・単独自治体で構成できない地方部では、汎用性の高いデザイン、名称でないと利用率が上がらないのではないか。
・運輸支局まで行かなくとも図柄入りナンバーの交付が受けられると良い。